



私の心の奥行き

園長 名古屋 彩佳

少し歩いただけでも汗がじわじわと出てきて、なぜかそれにともなって運動したい欲が増している今日この頃。
4月に任命された畑係の朝の水やりが日課となってきました。野菜づくりが初心者の私ですが、自分で調べながら、みんなに聞きながら、なんとか野菜を収穫することができました。6月はインゲンとオクラを収穫し、子どもたちと食べました。子どもたちの食べた感想は「あんまり美味しくない...」とのこと。美味しい野菜作りは難しい...
農家さんは本当にすごいですね。こうして実際に動いてみると見えてくるものもあって、野菜に携わっている人々を少し感じられるようになる気がします。普段食べている野菜たち、そこにはいろんな人の手がかかっているのだなと思いつつ、『自立とは一体...』と疑問がうまれました。自立した生活とはなんだろうか、自分はちっとも自立なんてできていない、むしろ私が満足いく食事を摂れているということは、見ず知らずの人からも支えられて生きているということなのだ、と野菜づくりから考えるのでした。

今月は野菜に水をあげていた時のエピソードを紹介します。
青緑チームの子どもたちがまち歩きに向かうところに出くわしました。Kさんが「いきたくない!」と言って地面に座ります。近くにいた保育者が色々とワクワクできるような提案をしますが、Kさんの心は動きません。

そこに1人のおじいさんがやってきました。

おじいさん 「おう! どうした! 立てないのか」
Kさん 「...」(地面に手をつく)
おじいさん 「お! すごいな! 立てるのか!」
Kさん 「...」(顔をあげ、じっとおじいさんを見つめる)
おじいさん 「すごい、すごい!」(手を叩く)
Kさん 立ち上がる
おじいさん 「えらいなあ。ハイタッチだ!」
Kさん おじいさんのところまで歩いていき、ハイタッチをする

おそらく、最初は立ちあがるために地面に手を着いたわけではないと思います。しかし、ふっと現れたおじいさんの言葉で身体が動いてしまったのだと思います。否定されるわけでも、励まされるわけでもない、おじいさんの絶妙な声色と眼差しがKさんを動かしたのでしょう。その瞬間、この場を流れる空気が変わり、私もその様子をまじまじと見つめてしまいました。

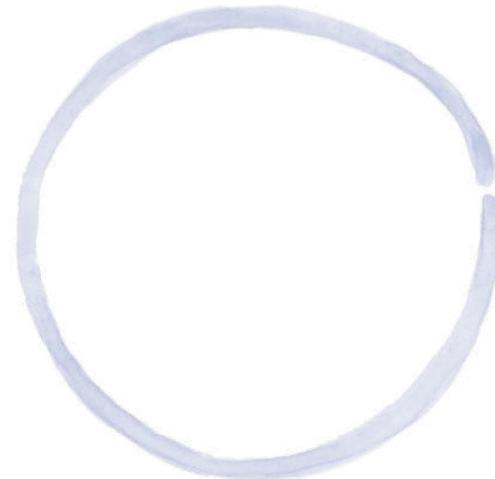
保育の本にはよく子どもの思いに寄り添う、思いを言葉にすることが良いと書かれていますが、実際はそれを忠実に行っても子どもの心が動かないことがたくさんあります。だからこそ、様々な人が子どもと関わり、凝り固まった場をほどくことが、今の時代には必要なのではないかなと思うのでした。

7月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14 こども合宿	15 こども合宿	16
17 海の日	18	19	20	21	22	23 大暑
24	25	26	27	28	29	30
31						

— お知らせ —

— 看護師より —



— キッチンより —

梅雨の時期が続いてますが、梅雨が明けると夏本番ですね。だんだんと蒸し暑くなり、食欲もなくなりがちです。しっかり食べて元気に夏を乗り切りましょう!

7月は、7日(七夕)そうめん、21日(土用の丑の日)にうなぎを使用したうざく飯、他にも旬の食材を使用したうもろこしごはんやピーマンの肉詰め、いわしの南蛮漬けやきすの天ぷらなどを取り入れた夏メニューになっています。また今月は子どもたちとすいか割り、カレー作りを行います。

先月は梅シロップ作りを行いました。水で洗ったり、へたをとっては触り心地や匂いを感じていました。シロップは来月冷たいかき氷にかけて食べる予定です。